

都市再生整備計画

な ば り な ば り え き し ゅ う へ ん
名張(名張駅周辺エリア)地区

み え け ん な ば り し
三重県名張市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都道府県名	三重県	市町村名	なばりし 名張市	地区名	なばりなばりまきしゅうへん 名張(名張駅周辺エリア)地区	面積	161.0	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
					交付期間	令和	7	年度
						～	令和	11
						年度		

目標
名張駅西周辺と名張川親水空間を結ぶ地域資源豊かな初瀬街道を活用し、『名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち』の再生を図る
・誇りある歴史資源の活用と、新たな掘り起し資源による魅力を発信し、まちなかの回遊性向上を図る
・親水公園等の交流拠点整備により市内外から多くの来訪者を招き、高い賑わいのあるまちづくりを推進する
・官民一体となった魅力ある滞留空間を創出し、賑わいのある歩行者空間を創出する
・魅力あるまちづくりにより、地元居住の継続、市外からの移住者等の居住誘導を図る
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市では、平成21年度に名張市都市マスタープランを改定した当時から、将来の人口減少を見据え、集約連携型の都市構造、いわゆるコンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造を目指しており、令和6年6月に策定予定の名張市立地適正化計画により誘導という手法を加えることで、更にこの考え方によるまちづくりを促進したいと考えている。 具体的には、本市の現状を生かした多極ネットワーク型のコンパクトシティを考えており、市内の主な交通結節点である名張駅と桔梗が丘駅(共に近畿日本鉄道大阪線。)を含む市の中心部、あるいは、地域の主な拠点に居住や都市機能の誘導・集約を図り、公共交通と様々な移動手段の組み合わせ等を模索しながら、将来の人口減少社会においても利便性を確保した持続可能な都市を目指すこととしている。 しかしながら、今般、本計画により整備を図りたいと考えている名張地区(以下「本地区」という。)は、名張駅を有する中心市街地であり、前述の名張市都市マスタープラン及び上位計画である三重県の名張都市計画区域マスタープランでは、市の中心的な拠点として位置付けているものの、人口減少や少子高齢化、空き家の増加が顕著であることから、名張市立地適正化計画(案)では、「都市のスポンジ化が懸念されている中心拠点への誘導」を居住誘導区域等の設定方針の1つとしている。 そこで、現在、国等と協働で進めている「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(Ⅰ期)」において本地区及び隣接地に創出される河川親水空間を、既存の地域資源と併せて整備を図ることにより、本地区の賑わいや豊かな居住環境を創出し、魅力を高めることで、地元住民の居住継続はもちろん、市外からの移住者等の居住誘導を促進し、都市の中心部の空洞化対策を図る。
まちづくりの経緯及び現況
名張市は、古く万葉の昔から大和と伊勢を結ぶ東西往来の要衝であり、伊勢参宮の人々が往来した初瀬街道沿いの宿場町として発展し、江戸時代には伊予国今治から往来した藤堂高吉公が本地区の丸之内に居館を築き、城下町としての体制を整えるなど、古くから本市の中心市街地として栄えてきた。 また、本地区は近畿日本鉄道大阪線名張駅を中心とした交通の拠点であり、名張藤堂家邸や江戸川乱歩生誕の地のほか、社寺などの歴史・文化遺産が多く残されており、地域を取り囲むように流れる名張川をはじめてとして、地区内を網の目状に流れる築瀬水路などは、うるおいと安らぎを与える重要な地域資源となっている。 しかしながら、昭和40年度以降、郊外部での大規模住宅地開発が相次いだことによる、スプロール化の進行など、都市構造の変化や、都市基盤整備の遅れなどから、既成市街地である本地区では人口の高齢・空洞化等に伴い、産業活動の低迷や良質な地域コミュニティの維持が困難な状況にあり、中心市街地としての求心性が失われつつある。 これらの要因により、衰退してきた既成市街地の再生に向けては、平成11年に「名張中心市街地活性化基本計画」を策定し賑わい再生に取り組むも、高齢化等によるまちづくり担い手不足等により実現に至らず、改めて、平成16年「名張地区既成市街地再生計画策定委員会」を設置し、市民・事業者・行政の共通共有の計画として「名張まちなか再生プラン」を策定。歴史文化資源や伝統行事、自然資源を活用した『名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち』を目標に掲げ、「誇りある地域資源を活かしたまち[歴史拠点整備]」、「豊かな自然を大切にするまち[水辺の整備]」、「市民が訪れる賑わいのあるまち[交流拠点の整備]」、「人と人が関係をもちながら楽しく暮らせるまち[生活拠点の整備]」を将来地域像とするハード・ソフト両面の具体プロジェクトを策定。その一部は実践されたものの、まだ、多くの取組みは未着手の状況にある。 一方、隣接する名張川沿川地域の浸水被害を軽減する名張川改修事業では、引き堤により創出される親水空間を地域の賑わい創出の活動拠点として活用を促進する国(河川管理者)の主導もあり、本格着手前の平成29年に地域づくり代表者や商工・観光団体、漁業組合や河川を活用しイベント等を企画するNPO団体、教育機関、行政らによる「名張川ワークショップ」を開催。引き堤事業とまちづくりを一体的に整備推進するため、利活用の方向性や整備プランを検討する意見交換が行われ、改修後の河川空間の利活用や背後地の計画、既成市街地との回遊性など、河川改修エリア周辺の名張川の将来像についてまとめた全体構想「名張かわまちづくり計画」を策定し、翌平成30年、国土交通省の認定を受けている。 賑わいあるまちづくりに向けては、これまでも地域住民、関係団体等と議論を重ね、具体的な施策も含めた構想が構築されてきた経緯はあるものの、現状は賑わいを取り戻す状況には至っていない。
課題
・新たに創出される河川親水空間がイベントやレクリエーション、環境学習の場として活用可能となり、市内外から多くの来訪者が見込まれるが、まちなかへの回遊性を高めるためにも安全安心な歩行者空間整備が求められている。 ・併せて来訪者を受け入れるための広場(駐車場・バス停・オープンスペース)やトイレ等の利便性向上に資する公益的施設整備による快適な滞留空間の形成が求められている。 ・新たな地域資源(歴史的建造物や水辺空間、憩い空間)の掘り起しによる魅力あるまちの再発見が求められている。
将来ビジョン(中長期)
①【新総合計画「なばり新時代戦略」】(R5～R14) 関係人口も含めたひととひとのつながりによる名張「らしさ」の形成により、賑わいあふれる「語れるまちなばり」を基本理念とし、地域共生社会の更なる進化・発展させる“ひととまち”の実現に取組む。 ・市民参加型シティプロモーションを推進し、関係人口の増加とともに、まちの魅力づくり、賑わい創出の場づくり、若者の居場づくりを支援。 ・豊かな心と文化の息づくまちづくり、文化資源を活用したまちの活性化、伝統行事継承による誇りと愛着あるまちづくりと、若年層を含めた地域ビジョンの推進と持続可能なまちづくり。 ・風土と暮らしが共生する魅力あるまちづくり。 ・活動や憩いの場となる公園環境をととのえる。
②【新総合計画「なばり新時代戦略」における「地域別計画」(名張まちづくり協議会)】(R5～R14) 将来像「名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち」の形成に向けたまちづくりの推進。 ・地域文化・歴史資源を活かしたまちづくり 豊かな自然を大切にし散策したくなるまちづくり 活気あふれた賑わいのあるまちづくり
③【三重県都市マスタープラン】R2 広域拠点となる名張駅周辺は、多様な都市機能の集約・強化と併せ、地域活力向上につながる歴史・文化交流拠点と位置付け、個性ある歴史・文化、景観を生かした地域づくりを支援する。
④【名張市都市マスタープラン】H22 都市中心にふさわしい賑わいの場と併せ都市経営効率の向上、環境負荷の軽減から歩いて暮らせるまちづくりを推進。具体には、都市交流拠点と位置付け 既存商業地域等を中心とした賑わい創出エリア 歴史・文化・伝統に基づく景観形成と市街地整備のまちなみ創出エリア 市街地としての基盤整備が進んでいないエリアのくらし創出エリア の取組みを推進。
⑤【名張地区地域ビジョン】H23 商業の空洞化、人口減少、少子高齢化による活気や賑わいが失われつつある現状において、「名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち」を基本目標として掲げ、5つの将来地域の方針 地域文化や歴史資源を活かしたまちづくり 豊かな自然を大切にし散策したくなるまちづくり 活気あふれる賑わいのあるまちづくり 人と人との支えあい楽しく暮らせるまちづくり 若人に夢と希望を与えるまちづくりについて具体的に取組むこととしている。
⑥【名張かわまちづくり計画】H30 中心市街地(まちなか)と連携した水辺空間整備により、初瀬街道を活用した歴史的なまちなみとの繋がりがりや回遊性の向上を図り、名張市民が誇りと愛着が感じられる「名張の玄関口、名張の顔」となる魅力的な水辺環境の拠点を創り、地域の活性化を図る。
⑦【名張かわまちづくり計画(変更)】R6 H30策定の「名張かわまちづくり計画」の実践に向け、引き堤後の背後地整備内容を明確化。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

本地区を含む中心部においては、既に集積している行政機能や文化機能、商業機能等の維持を図り、地域の主な拠点においては、将来の人口減少・高齢化を見据え、日常生活を支える商業機能等の維持・誘導を図る。なお、診療所や介護施設等の医療・福祉機能、各種学校等の教育・子育て機能等については、市域各所での立地が望ましいと考え、各計画等に基づき市域全体を見通した施設配置を図る。

また、特に本地区のような市街地等においては、歩行者・自転車での利用に配慮した道路環境の整備、公園や緑地、親水環境の形成による住環境の整備を図り、歩いて暮らせるまちづくりの実現を目指す。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光施設の入込客数	人／年	計画区域内に存する観光施設の入込客数 (旧細川邸・やなせ宿、名張藤堂家邸跡、宇流富志禰神社)	計画区域内への入込客増加を図り、観光施設の年間入込客数の増加を図る。	65,400人／年	R4年度	72,000人／年	R11年度
イベント参加者数	人／年	計画区域内で開催されるイベントへの参加者数 (名張川納涼花火大会、八日戎、隠(なばり)街道市)	歩行者の快適な空間づくりにより、各種イベントへの参加者増加を図る。	102,000人／年	R4年度	112,000人／年	R11年度
名張駅前観光案内所訪問者数	人／年	名張駅前観光案内所訪問者数	歩行者の快適空間の創造、魅力ある滞留空間・交流拠点整備(公園等)のPRにより、鉄道を利用し市内観光に訪れる観光客の増加を図る。	4,000人／年	R4年度	5,200人／年	R11年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【快適に歩ける空間の創出によるまちなかの回遊性向上】 ・ゆとりある歩行空間・見通し確保のための支障物の撤去・移設 ・安全性向上を図る歩車分離等による歩行帯の確保		【基幹事業】（高質空間形成施設） 市道箕曲中村本町線外歩行帯整備事業
【魅力ある滞留空間・交流拠点の創出】 ・公共空地や空宅地を利用した休憩施設（ベンチ、四阿）や憩い・交流の場整備 ・市内外からの関係人口を受け入れる交流拠点として背後地を活用した公園整備（駐車場等の広場整備、トイレ、休憩） ・河川堤防（二種側帯）を活用した休憩施設（ベンチ、四阿）や桜並木整備 ・まちなかエリアとかわまちエリア間のスムーズな車輛通行、歩行者の安全確保、コミバス利用者の利便性を考慮した道路整備 ・イベントやレクリエーション、環境学習の場となる親水空間整備（堤防・高水敷の芝生化等）[国土交通省・市施工]		【基幹事業】（高質空間形成施設） 市道本町夏秋線外歩行者用休憩施設等整備事業 【基幹事業】（公園）（仮称）名張川親水公園整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設） 市道本町夏秋線外情報板整備事業他 【基幹事業】（道路）市道高柳下川原道路整備事業 【提案事業】（地域創造支援事業）高水敷植生工
【居心地が良く歩きたくなる空間づくり】 ・歴史・文化・伝統・自然と、新たに発掘された地域資源も含めた散策マップの作製 ・低年齢層をターゲットとした“ひやわん道路”整備 ひやわん道路の整備… 民家の間を一人が辛うじて通れる“ 路地（ひやわい） ”に、ひやわいに住む能面犬としてイメージされたご当地キャラ“ ひやわん ”を路面に表示・建物壁面に掲示を行うなどし、低年齢層も楽しめる散策コースとして位置付ける。		【提案事業】（まちづくり活動推進事業） 散策マップ作製 【基幹事業】（高質空間形成施設） 市道本町豊後町線外ひやわい散策路整備事業
その他		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	532.0	交付限度額	242.0	国費率	0.46
---------	-------	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度							
道路		市道高柳下川原線道路整備	名張市	直	200m			9	9	60.0	60.0	60.0		60.0	
公園		(仮称)名張川親水公園整備	名張市	直	1.34ha			7	10	373.0	373.0	373.0		373.0	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		市道本町夏秋線外(まちなか案内板)	名張市	直	5基			10	11	18.0	18.0	18.0		18.0	
		梅田家住宅外(登録有形文化財案内板)			14基										
		市道本町豊後町線外(ひやわい誘導標)			30基										
		市道箕曲中村本町線外(歩行帯区画線4路線)			2.1km										
高質空間形成施設		市道本町夏秋線外(四阿、ベンチ)	名張市	直	25基			10	11	59.5	59.5	59.5		59.5	
		市道本町豊後町線外(ひやわい散策路整備22路線)			2.0km										
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										510.5	510.5	510.5	0	510.5	…A

提案事業															
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度							
地域創造 支援事業	高水敷植生	名張川親水空間	名張市	直	38,800㎡			9	9	20.0	20.0	20.0		20.0	
事業活用 調査															
まちづくり活 動推進事業	まちなか散策マップ作成		名張市	直	500部			9	9	1.5	1.5	1.5		1.5	
計										21.5	21.5	21.5	0	21.5	…B

居住誘導促進事業																			
事業	事業箇所名					事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費		
居住誘導促進事業										開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
計														0	0	0	0	0	…C
合計														532.0	532.0	532.0	0	532.0	…C
													合計(A+B+C)		532.0				

(参考)都市構造再編集中支援関連事業

	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
						直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
計												0

(参考)関連事業

	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
						直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
	名張かわまちづくり一体型浸水対策事業	名張川・宇陀川合流点	国土交通省	国土交通省	延長：1km	○				H30	R8	20,000.0
合計												20,000

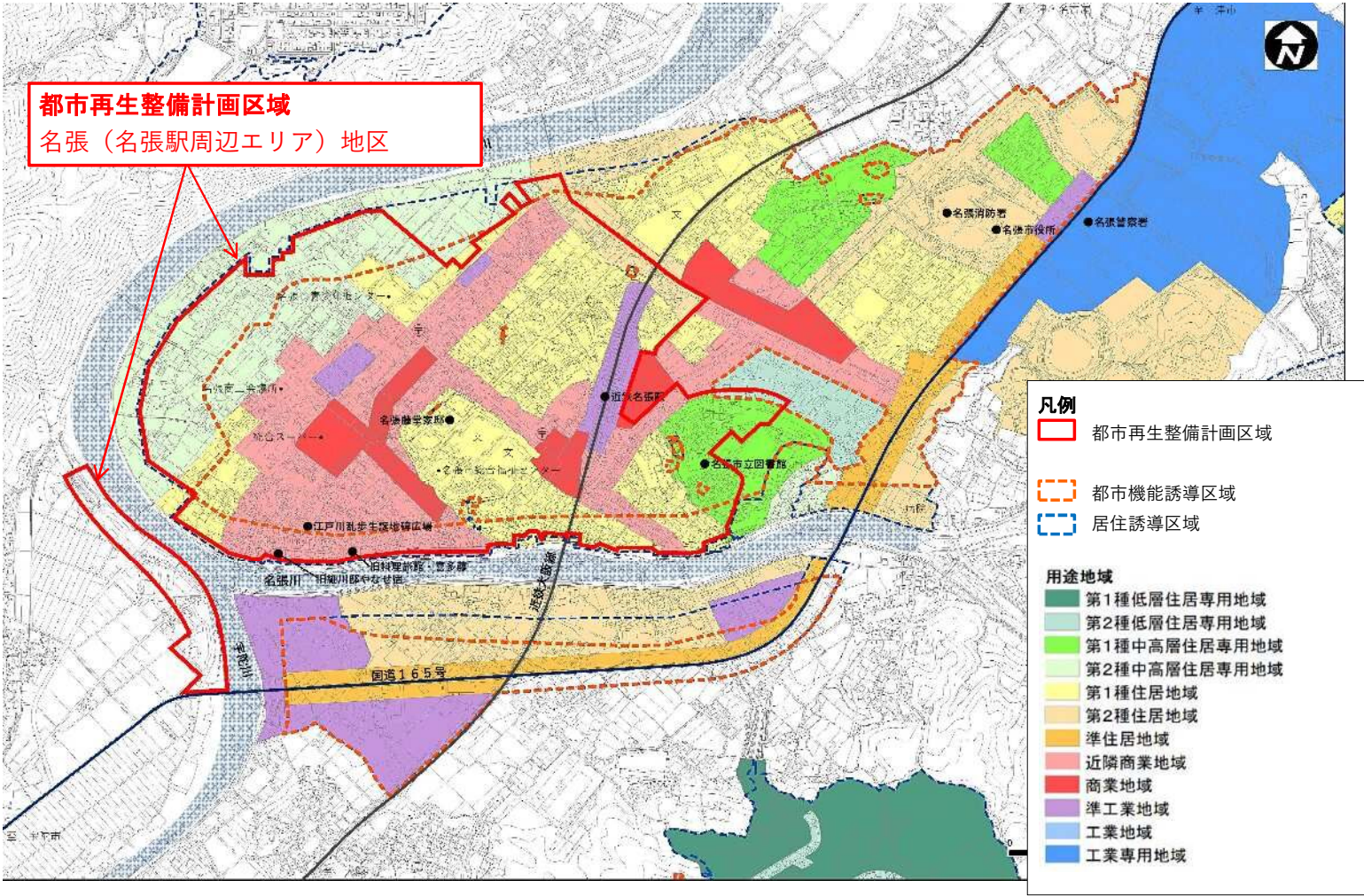
【基幹事業・事業詳細】

〔道路〕	
市道高柳下川原線	L＝200m・W＝10.0m(2車線・片側歩道)
〔公園〕	
公園施設詳細設計業務委託	全体設計A＝1.34ha
用地買収等	用地A＝6,500㎡、既設アスファルト舗装
駐車場	A＝2,600㎡・As舗装・区画線
オープンスペース整備	A＝3,600㎡・芝生
オープンスペース整備	A＝2,500㎡・インターロッキング
トイレ	便器11基(男5(大2小3)、女6、多機能1)
休憩施設棟整備	A＝20㎡(トイレ棟張出)
植栽	中高木N＝40本・低木N＝60.0m/0.3m＝200本
第二種側帯整備	桜並木N＝70本
〃	フリースペース3ヶ所・As舗装5.0×10.0/ヶ所
遊具	インクルーシブ・コンビネーション・ベーシック健康遊具
四阿	第二種側帯 3基
ベンチ	第二種側帯 4基×3ヶ所＝12基
〔地域生活基盤施設〕	
市道本町夏秋線外	まちなか案内板 5基
梅田家住宅外	登録有形文化財案内板 14基
市道本町豊後町線外(ひやわい)	ひやわん誘導標 30基
〔高質空間形成施設〕	
市道箕曲中村本町線外	歩行帯区画線 4路線 L＝2.1km
市道本町夏秋線外	四阿 7基
〃	ベンチ 18基
市道本町豊後町線外	ひやわい散策路整備 22路線 L＝2.0km

【関連事業・事業詳細】

〔地域創造支援事業〕	
名張川高水敷広場	地被植物吹付A＝38,800㎡
〔まちづくり活動支援事業〕	
まちなか散策路マップ作成	500部

名張(名張駅周辺エリア)地区(三重県名張市)	面積	161.0 ha	区域	名張市平尾の一部、桜ヶ丘の一部、栄町、丸之内、東町の一部、上八町の一部、松崎町の一部、木屋町、豊後町、榑町、中町、元町、本町、上本町、柳原町、鍛冶町、新町、南町の一部、朝日町の一部、黒田の一部
------------------------	----	----------	----	--



名張(名張駅周辺エリア)地区(三重県名張市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 名張駅西周辺と名張川親水空間を結ぶ地域資源豊かな初瀬街道を活用し、『名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち』の再生を図る	代表的な指標	観光施設の入込客数 (人/年)	65,400人/年 (R4年度) → 72,000人/年 (R11年度)
	目標1: 誇りある歴史資源の活用と、新たな掘り起し資源による魅力を発信し、まちなかの回遊性向上を図る		イベント参加者数 (人/年)	102,000人/年 (R4年度) → 112,000人/年 (R11年度)
	目標2: 親水公園等の交流拠点整備により市内外から多くの来訪者を招き、高い賑わいのあるまちづくりを推進する		名張駅前観光案内所訪問者数 (人/年)	4,800人/年 (R4年度) → 5,200人/年 (R11年度)
	目標3: 官民一体となった魅力ある滞留空間を創出し、賑わいのある歩行者空間を創出する			
	目標4: 魅力あるまちづくりにより、地元居住の継続、市外からの移住者等の居住誘導を図る			

